スペシャルレギュレーションサブ委員会

２０１９年１０月２８日　バミューダ

国際委員会　小林昇

サブミッションの討議内容と決定に付いて。

スペシャルレギュレーションサブコミッティーでの決定はオセアニック＆オフショア委員会で再審議され、そこでの決定がファイナルとなるので。ここでの承認は未決定である。

＊個々のサブミッションはワールドセーリングのサイトから参照ください。

1. SM SR01-19 OSR 2.04 一般要件

装備品の有効期限に付いて、全てのレースがタイムリミットを設定してはいないので、提案文を以下のように変更する。＜有効期間がある場合、レース中はその有効期限が切れる事はない。＞

文章を修正後、承認され,2020年1月から発効する。

　　b) SMSR02-19 OSR 3.02 艇体の完全な水密性

キール脱落や、座礁後のキール取付部等の問題が多発しているので検査実施を追加する事になった。

文章を修正後、承認され,2020年1月から発効する。

　　c) SMSR03-19 OSR 3.25 ハリヤード

ファーリングでないメインやジブセールのハリヤードには、乗員の安全を配慮してマストに登らないとセールが降ろせないようなハリヤードロック装置は許可されない。

文章を修正後、承認され,2020年1月から発効する。

　　d) SMSR04-19 OSR 3.27 航海灯

O&O委員会のワーキングパーティーの提出報告書を踏まえて、IRPCS（海上衝突予防法）の規定を採用して、航海灯照度を従来の最低ワット規定を採用しないこととした。

また、上記報告書にはワールドセーリングから、IMO(International Maritime Organization)への提案書原案が含まれている。

　　　　承認され,2020年1月から発効する。

　　e) SMSR05-19 OSR 3.28 エンジン、発電機、燃料

　　　　電動推進機が開発されて来た事でこれに関した項目を加え、修正するる提案。

　　　　文章を修正後、承認され,2020年1月から発効する。

　　f) SMSR06-19 OSR 3.28.3 バッテリーシステム

ワールドセーリングのサスティナビリティーアジェンダ2030の推奨１.アイテム１０　　 を元にして、再生可能なパワーソースに付いての提案。

＜2022年以降に進水する艇はレース中に最低20％のエネルギー再生装置使用にて発生されねばならない＞

　　　　がCat-0,1,2に加えられる。

　　　　文章を修正後、承認され,2020年1月から発効する。

　　 g) SMSR07-19 OSR 3.29.13 通信機器、GPS,RADAR,AIS

　　　　AISの搭載をCAT-3にまで引き下げる提案で、承認され,2020年1月から発効する。

 h) SMSR08-19 OSR 4.15.応急操舵装置

個々に独立したツインステアリング装置は、応急操舵装置を備えていると解釈する事になった。

　　　　承認され,2020年1月から発効する。

1. SMSR04-18 昨年保留されたサブミッション　OSR 4.20.3 b)ライフラフトの収納デッキ下のラフト収納の許容を削除する提案。2001年以前に建造された多くのレース艇が存在し、これらの艇はデッキ上に適切な収納準備がなされていない。

否認する。

1. SMSR09-19 OSR 4.26.2 d) ストームとヘビーウエザーセール

ストームトライスルに替えて５０％にリーフしたメインセールを含める、という提案。

承認され,2020年1月から発効する。

1. SMSR10-19 OSR 4.26.2.d) ストームとヘビーウエザーセール

Cat-2のレースで２名の乗員の場合、ストームトライスルに替えて５０％にリーフしたメインセールを含めるという提案であったが、j)が承認されたのでk)は取り下げられた。

1. SMSR11-19 OSR4.30 緊急ポンプ

緊急時のポンプの新しい要件の提案。

文章を修正後、承認され,2020年1月から発効する。

　　　m) SMSR12-19 OSR 3.14 プッシュピットへのシーティング

本件は十分に検討に値するが、レーティングシステムの事項であるのでは？等十分に検討されていないとして取り下げられた。

　サブミッションの審議以外に、

　　　ワールドセーリングストラクチュアプランレビュー

　　　OSR ワーキングパーティーの報告として、キール損傷についての報告

　　　事故報告　６件

　　　国際レギュレーション委員会の報告が成された。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　　上